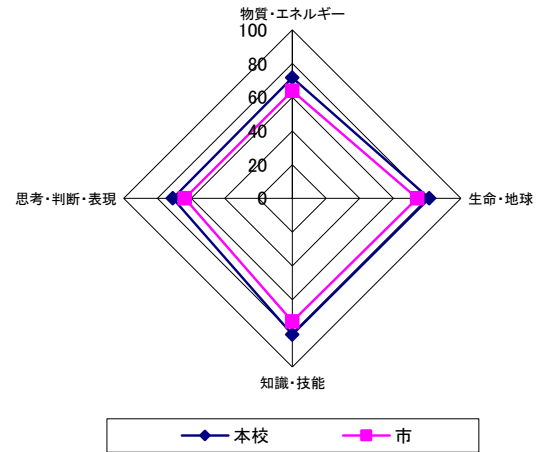


# 宇都宮市立今泉小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.6	63.8	61.6
	生命・地球	81.3	74.1	73.3
観点別	知識・技能	80.7	73.0	71.3
	思考・判断・表現	70.9	63.8	62.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均より7.8ポイント高い。</p> <p>○「物のとけ方」の水に食塩を溶かしても合計の重さが変わるかどうかを問う設問では正答率が市の平均を13.4ポイント上回っており、水溶液の学習内容が理解できている。</p> <p>●「水溶液の性質」の蒸発させたときに何も残らなかった水溶液には何が溶けているかを問う設問では、正答率が55.6%で、十分理解しているとは言えない。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>●実験の際に、学習内容を身の回りの事象と結び付けながら仮説を立て、それを確かめられる実験方法を考えるよう計画の段階で指導の工夫や支援をする。</p> <p>●仮説から考察までの一連の流れを丁寧に行うことで、目的意識をもって実験に取り組むことができるようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均より7.7ポイント高く、どの内容も市の平均を5ポイント以上上回っている。</p> <p>○「月と太陽」の月の形や位置の観察の方法を問う設問では、100%の正答率で十分理解できている。</p> <p>●「流れる水のはたらき」の、運搬のはたらきは傾斜角度によってちがいがあつたことを調べる実験の方法を考え説明を記述する設問では、正答率が63.3%と低かつた。</p>	<p>●天体や地球に関する内容は、模型や動画を活用することで、実物が大きくイメージが捉えにくいものも具体的に理解できるようにする。</p> <p>●科学的事象について、自分の知っている言葉を使って表現しまとめる機会を多く設け、記述することに対する自信を高められるようにする。</p> <p>●授業で得た知識が、身の回りの事象と関連付けられるよう、授業での説話や課題の出し方を工夫していく。</p>